

- 問1 弥生時代の遺跡からは、稲作に関連する様々な道具や施設が発見されています。収穫した稲の穂首を摘み取るために用いられた石器と、穀物を湿気やネズミなどの害獣から守るために床を高くした貯蔵用の施設の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
1. 和同開珎と高床倉庫                      2. 石包丁と高床倉庫                      3. 石包丁と竪穴住居                      4. 銅剣・銅矛と高床倉庫
- 問2 古代の倭（日本）の王や諸国の首長が、中国の皇帝へ貢物を送った「朝貢外交」の主な目的を説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
1. 中国大陸での戦乱を鎮めるために、日本の強力な軍事力を提供して外交上の恩を売るため                      2. 中国の王朝を軍事的に支配下に置き、その領土を大陸側へ広げるための足がかりにするため                      3. 中国にある高度な仏教建築の技術を独占的に導入し、日本国内に巨大な寺院を建立するため                      4. 中国の皇帝から自らの地位や権威を認めてもらい、国内や周辺諸国に対する統治の正当性を得るため
- 問3 兵庫県神戸市の桜ヶ丘町などで出土した、釣り鐘のような独特の形をした弥生時代の青銅器について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、この青銅器の表面には、当時の生活の様子や幾何学的な文様が描かれていることがあります。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 魏の皇帝から邪馬台国の女王に贈られたとされる銅鏡である                      2. 縄文時代の集落で見つかる、魔除けのために作られた土偶である                      3. 狩猟や農耕の様子が描かれた、祭祀に用いられた銅鐸である                      4. 古墳の副葬品として納められた、馬に装着する鉄製の装具である
- 問4 出土した人骨の統計において、縄文時代に比べて弥生時代は武器などによる傷を受けた割合が高いことが分かっています。こうした背景から、当時の人々が敵の侵入を防ぐために、居住域の周囲に深い堀や溝を巡らせた集落を建設しました。この防御的な構造を持つ集落を何と呼びますか。 (2024年 北海道公立入試 類似)
1. 前方後円墳                      2. 竪穴住居                      3. 環濠集落                      4. 高床倉庫
- 問5 邪馬台国の女王が中国の魏の皇帝に使者を送った際、皇帝から授けられたとされる称号と、その証として贈られた品物の組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2025年 長野県公立入試 類似)
1. 「親魏倭王」の称号と、金印や銅鏡                      2. 「日本国王」の称号と、明との貿易に用いられた勘合符                      3. 「漢委奴国王」の称号と、志賀島で発見された金印                      4. 「倭王」の称号と、百濟から贈られた七支刀
- 問6 古代における農具の改良について、木製農具の先に鉄の刃先を取り付けるようになった目的と、その結果として生じた変化について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. すべての農具を鉄のみで製造することで、木材資源の消費を抑え森林を保護した                      2. 土を深く耕すことを可能にして農業生産力を高めるため、収穫量が増大した                      3. 石包丁の使用を継続しつつ、木製農具の強度を補うことで穂首刈りの効率を上げた                      4. 灌漑用水を確保するために、大規模な土木工事専用の石造りの道具を開発した
- 問7 佐賀県の吉野ヶ里遺跡などの墳丘墓から出土する「細形銅剣」をはじめとした青銅器の性格について述べた文として、歴史的な事実と合致するものはどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)
1. 弥生時代を通じて、一貫して実戦での殺傷能力を追求した武器であった                      2. 鉄器に比べて硬度が高かったため、土木工事の道具として普及した                      3. 調理や食事を円滑に進めるために開発された、一般庶民の日常生活用具であった                      4. 富や権力を象徴し、村々のまとまりを強めるための儀式や祭りに用いられた
- 問8 7世紀初め、推古天皇の摂政であった聖徳太子は、小野妹子を遣隋使として中国の隋へ派遣しました。その際、中国の皇帝に宛てた手紙の中で「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す…」という有名な一節を記しました。この外交姿勢の背景にある、従来の中国との関係からの変化について、正しい説明を選びなさい。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 中国の皇帝に対して臣下として従う従来の形式をとりつつも、対等な立場での外交を目指そうとした。                      2. 日本の天皇を中国の皇帝よりも上位に位置づけ、中国を日本の属国にしようとした。                      3. 中国の皇帝からの称号を拒否し、完全に国交を断絶して鎖国体制を築こうとした。                      4. 中国の皇帝に対して朝貢を一切行わず、民間商人による自由貿易のみを求めるようになった。
- 問9 表面に当時の生活の様子や動植物、流水文などの模様が描かれ、上部に「鈕（ちゅう）」と呼ばれる持ち手のような部分がついている、弥生時代の祭祀用青銅器の名称は何か。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 埴輪                      2. 銅矛                      3. 銅鐸                      4. 銅戈
- 問10 弥生時代に中国や朝鮮半島から伝わった鉄の利用について、当時の社会に与えた影響を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 須恵器と呼ばれる硬い土器を焼くために、窯の温度を上げる燃料として利用された。                      2. ナウマンゾウなどの大型の獣を捕らえるための、強力な打製石器の材料となった。                      3. 木製農具の刃先に装着することで土地を耕す効率が向上し、農業生産力が高まった。                      4. 土偶の表面を細かく削り出すための彫刻用具として、全国で広く普及した。
- 問11 3世紀の中国の歴史書において、邪馬台国の女王卑弥呼が30ほどの小国を従え、倭の王として交流したことが記されている当時の中国の王朝名を答えなさい。 (2023年 山形県公立入試 類似)
1. 秦                      2. 魏                      3. 隋                      4. 漢
- 問12 弥生時代に本格的に始まった稲作において、収穫の際に用いられた石包丁の使用方法について説明したものと、最も適切なものはどれですか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 稲の穂の部分を摘み取るために用いられた                      2. 土を掘り返して苗を植えるために用いられた                      3. 稲を根元から刈り取るために用いられた                      4. 収穫した後の脱穀を行うために用いられた
- 問13 稲作の技術が広まったことで、土地や水をめぐる争いが起き、周辺のムラを従えて「クニ」をつくる者が現れた弥生時代の社会において、青銅器はどのような役割を担ったと考えられますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 王や指導者がその権威を示すため、あるいは祭祀を行うための象徴として用いられた                      2. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出される主要な品目となった                      3. 呪術的な力を持つと信じられ、女性の姿をかたどった土偶とともに魔除けとして埋められた                      4. 大規模な水田開発を行う際、土を掘り起こすための主要な農具として普及した